

No. 59

2004

11月1日発行

萩の郷

発行者
下市田区
発行責任者
大屋敷 清 利
印刷
下市田・キタバヤシ印刷

好天のもと 元気な声が響く



下市田保育園の運動会から

九月二十五日には、下市田保育園の運動会が行われ、にぎやかな歓声が萩山の里に響いていた。天候にも恵まれ、暑い日射しの中、元気に走りまわる子どもたちになつぷりパワーをもらった気がした。

そのあと小学校の運動会もあり、地域によるふれあい運動会も各地で行われたけれど、いずれも天候を気にしての催行だった。

今年は、長くて暑い夏がすぎると、矢継ぎ早に台風がやってきた。幸いにもこの地方では直接の被害はほとんどなかったけれど、降り続く驟雨に、穫秋は遅々として進まなかった。

猛暑、多い台風など、いずれも地球温暖化の影響であり、その面では台風も人災だという人もある。それを最低限ではあるけれど、これ以上進ませないという「京都議定書」も、大国の利害がからんで批准に十年もかかるだろうといわれる。

そうした世界と、下市田に住むわれわれが、どこでどう関わったらいのか。保育園の運動会で、はねまわる子どもたちの未来は、まちがいなくわれわれの肩にかかっているのだが…。

区の情勢について

区長 大屋敷 清利

猛暑の続いた夏も過ぎ、いつしか秋も終りに向かっている。皆様いかがお過ごしでしょうか。

この夏には、町内に殺人事件があり、平和な町に衝撃を走らせたと同時に、さまざまな問題が提起された。一人の不心得の仕業に怒りを禁じえない。

七月二十四日に行われた下市田区夏の祭典「萩の里祭り」は、例年にもまして多くの参加者を得て、区民の交流と連帯の絆を深めることが出来た。

また、十月十六・十七日に行われた、文化祭り・ぐりりウォーキング・敬老会には新しい趣向も取り入れ、みんなに喜ばれる催しになった。下市田支館を中心に関係皆さんのご尽力によるもので心から感謝申し上げます。

八月二十日、健康センター「あさぎり」の竣工式が行われた。平成九年、下市田区より町へ健康センター建設の要望書が出された経過もあり殊のほか喜ばしいことである。区内の施設として大いに利用が望まれる。一度足を運んでみてもらい

清利

たい。
ふるさ農道湯
ケ洞線。平成五
年事業開始以来長期に亘ったが、この秋終り頃には完成式典が予定されている。

この春の式年祭には、一の柱が開通したばかりの新道を御柱が曳行され感激一入であった。道路の愛称も近く発表される予定。沿線に植栽も計画されている。

農免道路も未完成部分が北から工業団地まで水田の収穫が終わってから本年度中に完成予定。

大島川砂防事業堰堤工事がいよいよ始まる。下市田

委員会活動報告

土木委員長

桐下 和行

日頃土木事業にご理解ご協力を賜り、感謝申し上げます。

平成十六年度土木委員会の事業内容につきましては、道路維持工事三件、安全施設工事四件、道路改良工事一件、舗装工事一件、国土保全対策二件、地域づくり拠点整備事業、農免農道整備事業、地元施行事業等の事業の推進を行っています。又、大島川砂防堰堤につ

区有林の山の神辺から上流に向けて一号から五号までの内、二号堰堤工事。不動滝への通行はできる。

区へ寄贈品やご奉仕。一区の北沢富夫さんより「松岡城・松岡南城跡鳥瞰図」宮坂武男氏作画を拡大複製した額。出砂原女性の会より雑巾。日赤奉仕団下市田支部より区民会館の座布団カバーの洗濯。高寿会の区民会館周辺掃除。併せて感謝。

いよいよ寒い冬が目前に迫っている。健康に留意し、前向きに毎日を過ごしたいものである。

いては、下流地域への防災害対策として着手致しました。十一月には湯ヶ洞線の工事完成に至ります。

只今は十七年度事業における地区計画の編成会議を行っています。以後町とのヒヤリングを行い、工事決定が行われる訳ですが、区内にはまだまだ危険箇所、不便箇所が多々ありますので、予算の限り事業の推進に努めて参りたいと思いますので、地権者並びに関係者の皆様には一層の御協力、御理解の程お願い申し上げます。

平成16年度 下市田区一般会計中間決算報告書

(自 平成16年4月1日～至 平成16年9月30日)

収入金計 31,857,450円 支出金計 21,086,362円 差引残高 10,771,088円

I. 【収入金の部】

項 目	予 算 額	決算収入額	比 較 増 減
1. 区 費	15,000,000	7,716,400	- 7,283,600
2. 繰 入 金	550,000	0	- 550,000
3. 町 支 出 金	6,000,000	11,104,599	5,104,599
4. 財 産 収 入	1,200,000	153,350	- 1,046,650
5. 地 元 負 担 金	350,000	0	- 350,000
6. 消 防 義 務 金	2,100,000	2,120,000	20,000
7. 諸 収 入 金	1,500,000	3,728,989	2,228,989
8. 前 期 繰 越 金	6,500,000	7,034,112	534,112
収 入 合 計	33,200,000	31,857,450	- 1,342,550

II. 【支出金の部】

(単位 円)

項 目	予 算 額	決算支出額	比 較 増 減
1. 総 務 費	12,000,000	3,341,028	- 8,658,972
2. 環 境 衛 生 費	1,170,000	8,064	- 1,161,936
3. 林 務 費	900,000	238,419	- 661,581
4. 土 木 費	6,000,000	5,618,164	- 381,836
5. 水 利 費	2,500,000	2,689,705	189,705
6. 消 防 費	2,600,000	1,013,817	- 1,586,183
7. 公 民 館 費	3,000,000	1,500,000	- 1,500,000
8. 予 備 費	5,030,000	6,677,165	1,647,165
支 出 合 計	33,200,000	21,086,362	- 12,113,638

平成16年度 高森町公民館下市田支館 中間決算報告書

(自 平成16年4月1日～至 平成16年9月30日)

既収入額 2,307,160円 既支出額 1,694,945円 残 高 612,215円 (J Aみなみ信州預金残高 612,215円)

《収入の部》

科 目	予 算 額	既収入額
1. 繰 越 金	600,000	792,149
2. 繰 入 金	3,000,000	1,500,000
3. 補 助 金	450,000	0
4. 雑 収 入	1,000	15,011
合 計	4,051,000	2,307,160

《支出の部》

(単位 円)

科 目	予 算 額	既支出額
1. 総 務 費	2,240,000	856,198
2. 事 業 費	1,760,000	838,747
3. 広 報 費	20,000	0
4. 予 備 費	31,000	0
合 計	4,051,000	1,694,945

地元町議との懇談会

平成十六年度 自立の場合の定数について視察研修の他、区役員や商工会役員との意見交換を実施し参考とした。主な意見として経費削減、議員定数削減や資質の向上が優先等が出されました。委員会でも賛成、反対意見が有りましたが、三月定例会で賛成多数により現在の十八人から十五人に削減が決まる。



等での日常生活の中で活用普及も必要。さらにNPOとタイアップしたらどうか。

質疑応答

Q えのき屋さん前の信号機移転に感謝しています。新たな問題として大型車の通過時、風圧が発生し危険である。東西の両側へ待避場所の確保と安全対策をしてもらいたい。

A 現地を確認した上で町へ責任を持って対応します。

Q 健康センターの運営について、しっかりとした体制を取って欲しい。

A 町の担当者から、責任を持って任せて欲しいと回答があり承認した。

Q 議員十五人はいいが、町の職員の削減について、どう考えているか。

A 職員減について町民二千二人に対して二十人、千三百人に対して百三十人になってもいいが、官から民への時期、個人で出来る事はやっていただき、一人一人の覚悟も必要になると思う。

Q 町の財政は、一般会社だったら倒産では。民間で経営能力のある人を入れて町の経営をしてはどうか。

A 百八十億円の借金があり、百億は交付税で来るが

八十億円を返していく。十六年度は、借換債で補ったが、十六年・十九年の借金を先送りしている。富本券をやめれば六百万うくなど、住民への必要性を考え町の運営を変えていかなければならないと思う。

Q 合併する、しないに関わらず全ての町経費を削減し、将来の町の方向性や、今やっている事を聞きたい。

A 文化財保護法に関わる発掘調査を湯ヶ洞線ですでに全部流されている所でもあり中止を申し入れた。条件により表土を動かさなくても良いとされているが行われた。平成五年・十五年の間に五億円使われた。近隣町村では九十九万円・四千万円であり、教育委員会が聖域化されていなか指摘した。予算の使われ方を町に申し入れている。

Q 河川清掃時に区が支払う経費について補助金が削られており、ビーバー・軽トラックにかかった経費くらい町で見たい。

A よく調査し、返事をしたい。今回は特に合併問題、町財政について多数の意見交換がされました。その他として、①インターネットの普及事業の高齢者への対応について。②厚生連と熊谷モーターの間にあった古いコンクリート塀の地元へ説明無しの取り壊しについて。③福祉への予算の使い方の見直しの要望がありました。区民約八十名の出席の中で有意義な懇談会でした。地元町議五名の今後の御活躍を祈って報告を終わります。

久保田昌幸議員

九月開所予定の健康センターの有効利用方法や運営体制は軌道に乗るまでは町が全面的に責任を負って頂く様提案している。

下市田保育園については増設の保育室の未使用や未満児入所を断った理由として保育士不足が上げられたが今年四月に増員された。

「三位一体改革」で国からの財政支出が一般会計予算で二億一千七百万円の減額を迫られた。

熊谷元尋議員

議員定数の削減問題について特別委員会を作り検討。

上沼眞守議員

十四年度予定の障害者施設の実現について、現在社会福祉法人親愛の里の運営とすること今年十月一日開所式の予定で進行中です。

古文書の保存場所については下市田学校の活用意見

も有るが、町教育委員会でも管理し文化財の問題や関係者の意見を含め最善な方法を検討したい。

中学校校門前の防犯灯は総務文教委員会、町総務課で設置完了。

町の財政について地方交付税の削減による財源不足を、借換債の発行で借金返済を繰延べすることで町は対処した。考えられる影響として自由に使える経費「0」どころか大きな赤字である。有線インターネット普及事業として普及員の説明対応、普及講座を開設する。又各種団体・クラブ



好天に恵まれ 大盛況

7月24日

萩の里祭り



準備は万全 さあいらっしゃい!



縄文の火おこし うーんなかなか火が出ない

下市田支館の年間行事の中で最大のイベントである萩の里祭りが、七月二十四

日(土)に盛大に行われ、六月下旬に第一回目の打合せを行い、その後何回かの会合を行い着々と準備を進めて来ました。今年度は部員にとっては二年目という事で、全員がどのよう

にしたら良いか、又何をすれば良いかを充分に把握しており、なお又前年度の反省と経験に基づいて、より良いお祭りが出来るように阿吽の呼吸でスムーズに打合せ準備を進めてまいりました。

六時過ぎより町長、助役、下市田区の招待者及び関係者多数の参列をいただき開会式が始まりました。続いて再度紅華の太鼓により祭

り(土)に盛大に行われ、六月下旬に第一回目の打合せを行い、その後何回かの会合を行い着々と準備を進めて来ました。今年度は部員にとっては二年目という事で、全員がどのよう

にしたら良いか、又何をすれば良いかを充分に把握しており、なお又前年度の反省と経験に基づいて、より良いお祭りが出来るように阿吽の呼吸でスムーズに打合せ準備を進めてまいりました。

六時過ぎより町長、助役、下市田区の招待者及び関係者多数の参列をいただき開会式が始まりました。続いて再度紅華の太鼓により祭

余裕をもって万全の体制でお祭りの開始を待ちました。夕方薄暗くなりかけた頃、紅華の皆さんによる呼び込み太鼓が始まり、段々と区民が集まり始めました。又お楽しみコーナーにはちびっ子が群がり、足を踏まれる程のにぎわいとなりました。又各部落では早くも酒盛りが始まり、俄然会場がにぎやかになって来ました。

火を起す事は大変でしたが、子供達の必死の努力が実り火が起りました。その火が花火に点火され大花火大会となりました。孫と一緒に花火をするおじいちゃんおばあちゃんのかほれるようなうれしそうな顔。

祭日も最高の盛り上がりを見せてまいりました。その後各部落ごとに順番で盆踊り大会を行いました。各部落共創意工夫をこらし見事な盆踊り大会でした。審査員による審査発表があり第一位になられた部落には何拾万円(?)相当の商品が渡され、いたく感激されていました。

最後に閉会式があり、万歳三唱して無事終了致しました。昨年は途中雨により機先を制されましたが、今年はその心配もなく盛大のうちに終了出来ました。安全協会の皆さん大変お世話になりました。お楽しみコーナーの青年の皆さん有難うございました。そして関係各位の皆さんご協力を有難うございました。

みどりの芝草の上で開催される萩の里祭りは、会場として非常に恵まれていいます。来年度は支館部員全員が交代しますが、新部員のもと、より良いお祭りが出来ます様心よりお祈りしております。

火を起す事は大変でしたが、子供達の必死の努力が実り火が起りました。その火が花火に点火され大花火大会となりました。孫と一緒に花火をするおじいちゃんおばあちゃんのかほれるようなうれしそうな顔。

祭日も最高の盛り上がりを見せてまいりました。その後各部落ごとに順番で盆踊り大会を行いました。各部落共創意工夫をこらし見事な盆踊り大会でした。審査員による審査発表があり第一位になられた部落には何拾万円(?)相当の商品が渡され、いたく感激されていました。

最後に閉会式があり、万歳三唱して無事終了致しました。昨年は途中雨により機先を制されましたが、今年はその心配もなく盛大のうちに終了出来ました。安全協会の皆さん大変お世話になりました。お楽しみコーナーの青年の皆さん有難うございました。そして関係各位の皆さんご協力を有難うございました。

みどりの芝草の上で開催される萩の里祭りは、会場として非常に恵まれていいます。来年度は支館部員全員が交代しますが、新部員のもと、より良いお祭りが出来ます様心よりお祈りしております。

各賞発表 さあ何賞がもらえるかな

最後に閉会式があり、万歳三唱して無事終了致しました。昨年は途中雨により機先を制されましたが、今年はその心配もなく盛大のうちに終了出来ました。安全協会の皆さん大変お世話になりました。お楽しみコーナーの青年の皆さん有難うございました。そして関係各位の皆さんご協力を有難うございました。

みどりの芝草の上で開催される萩の里祭りは、会場として非常に恵まれていいます。来年度は支館部員全員が交代しますが、新部員のもと、より良いお祭りが出来ます様心よりお祈りしております。

各賞発表 さあ何賞がもらえるかな

そろわなくたっていいや 楽しいんだあ

各賞発表 さあ何賞がもらえるかな

下市田文化祭

出品にあたって

後藤 国男

私達ひまわり陶芸クラブは、発足してまだ三年です。会員は六名で、六十歳以上の方ばかりです。八十八歳になる元気な方もいます。発足は三年ですが八年から十年以上の陶歴です。毎週金曜日の九時から午後三時頃まで下市田の旧学校跡で作陶しています。又窯入れ、素焼き、本焼き等の作業があります。教室に来る日が多くあります。本焼きは早朝五

時より十二時間かけ、一二〇〇度になるまで温度を上げて焼きます。作品は主に手作り



分の作品を手に取り、皆の苦心の成果が出た時です。なかなか気に入った作品はできませんが、お茶を飲みながらお互いの作品を批評し、素人なりの陶芸論を交わし、次には良い作品が出来る様に頑張っています。

このクラブは指導者はおられません、一年に数回、各地の陶芸展を見学に行き参考にしてお

す。今年も一生懸命作った作品を出展でき、区民の皆様に見て戴き有難うございました。皆様のご意見をお聞かせ戴ければ幸いです。

平成16年度 下市田文化祭り・敬老会 10月16日・17日

和やかな雰囲気の中で

今年も、十月十六日・十七日に「下市田文化祭り・敬老会」が、とても良い天気のもとで開催されました。文化祭りでは、十六日の午前中に展示発表に出品される方が続々と集まり、作品を展示し、何もない会場があつという間に華やかになりました。今回の展示発表は、参加グループ数十八団体、三個人、展示作品数二百四十七作品で、屋外に盆栽、屋内に古文書、絵画、書、手芸、革工芸、陶芸、生け花、木彫等が展示されました。細かな手作業、気が遠くなる様な根気のいる作品、創造力豊かな作品、どの作品も個性溢れる作品で驚くばかりです。



クライマックスの光る白の場面

生は、宮下和男先生の講和をお聞きし、内容としましては大鹿村にきた青い目のお人形の「長い長いかくれんぼ」と、座光寺の地名の由来でもある光る白がでてる「元善光寺物語」のお話を下さいました。歌

を交えながらのお話で、自然と歌を口ずさみ大合唱になる場合もあり、とても楽しい講話だったと思います。その後の舞台発表では、十三団体の参加で、民謡、民舞踊、健康体操、エアロビクス、大正琴、ハワイアンダンス、吹奏楽と、次々日頃の練習の成果を披露して頂き、どの発表も大変素晴らしいもので、その度大きな拍手が沸き起こりました。この開催にあたり、御協力頂いた各位関係者様方に御礼申し上げると共に、次回も盛大に開催される事を御祈念申し上げる次第です。



敬老会が終わって みんなでバンザイ

下市田のみなさん

こんにちは

一区出身 鶴飼 裕子

(東京都在住)

ここ東京都町田市に住居を定めてから早や三十年近くが過ぎようとしております。高森町を離れて何年たつことになるのでしょうか、年月の流れをあらためて感じております。

私が下市田で過ごさせていただきましたのは、父の勤務先が農事試験場であったため、終戦後四年くらいたつてからの十年余りでした。小学生から高校生までという時期でしたが、その間の高森町での生活はいつでも私の脳裏に焼きついております。その後住んだ各々の地での山や川よりも

山といえど雄大な赤石山であり、川といえど清き流れの天竜川が真先に目に浮かびます。また、秋になると、たわなに実った真っ赤なりんご、軒先につるされた市田柿等の風景が思い出されます。

二人の子供の成長と共にPTA活動、地域活動、子供に関するボランティア活動に関わりをもちました。虐待等子供に関する暗いニュースを聞いたたびに心が痛みます。

同期会、同級会等で御地を訪れる機会もあり、いつまでも忘れられない地です。これからの皆様のご活躍と地域の益々のご発展を心よりお祈り致しております。



笑顔

二区 池田 嘉宏

先日、私の竹馬の友で同年のON君が七十八歳で他界された。スポーツマンで家族思いの彼は、闘病半年間奥さん嫁さんを始め家族の手厚い看護の甲斐なく家で息を引取られた。葬儀の朝、出棺を家内と見送りに行きました。あいにくの小雨の中、遺族血縁者の方々の幸を見つめ、孫、ひ孫らに

随想

おじいちゃん
はカッコイイ

野球と私の人生

六区 甕 寛夫

私は小学校三年生の頃から野球が好きで、近所の友達と毎日遊んだ。その後出砂原にグラウンドが出来て、野球は益々盛んになりました。私達も此のグラウンドが何よりの遊び場でした。学校から帰ると皆集まって力一杯投げ、打って走るベースが楽しかった。私は高等科の時、郡下の大会に遊撃手として出場し、苦戦の結果見事に優勝して、当時の

中島先生、春日先生から大変おほめをいただいた思い出は、今でも懐かしい。以来社会に出て職場のチームでよく対外試合をやり、幾度か栄冠を勝ち得た事もありました。



その後は戦争となり、私も応召され満州の牡丹江の部隊で北辺の守りに就いたが、余暇を見て中隊長の命により野球を楽しみました。中隊長は中京高校出身で、

身で大の野球好きで、いつも私は投手で引張り出されました。尚他の中隊にはプロの巨人で有名な監督水原茂さんも居て、この隊ともよく交流試合をやったものです。此のような野球の縁で私は一般中隊の中から

が肅々と霊柩車等に乗る込むなか、奥さんが悲しみをこらえて胸に抱えられている遺影を見た時、にっこりと満面笑みをたたえたO君。厳粛な雰囲気の中で私の心にO君との過ぎし日の楽しかった懐かしい思い出がよぎりました。その笑顔はよい心掛けで幸せな人生を歩んできた証拠です。今後はO家の欄間に掲げられ末永く家族の幸を見つめ、孫、ひ孫らに



でその効用は計り知れませんが、人生において幾度となく訪れる出会いを生かし、幸運を手にするかどうかは笑顔次第なのです。私も老期を迎え、家族や回りの方々に不快感を与えないようにと心掛けています。O君の遺影を見て私も永久に残る笑顔の写真を残したいと思いました。

夢中になれるもの

中三 岡本夏海(四区)

今はとても疲れる。文化祭前だというのもあるが、やはり受験生だからなのだろうか。とは言っても自慢できるほど勉強をやっているわけでもない。

今の自分は日常的にフルに頭を使っているから常に眠気が襲う。まだ部活をやっていた頃は今とは使っていた所が違うが、限界まで走って飛んで、終るとやっぱり

眠気が襲う。

それだけ疲

れるとわかって、忙しい、疲れる、眠い、そんな中に今の自分

に、時、何もかも忘れて夢中になれる何かが必要になってくる。僕にとってそれは：バスケットボールだ。



初めての組体操

小5 小林由衣(5区)

今年の運動

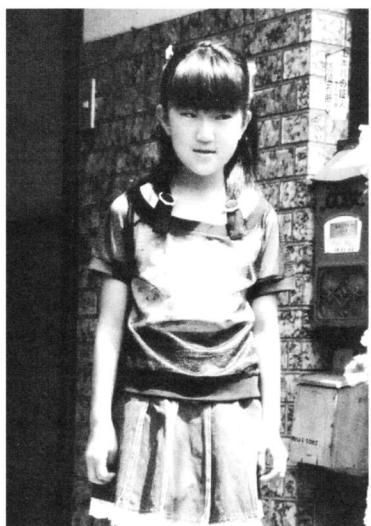
会は、初めて五、六年での組体操をやりました。

最初は、できるかなと心配でしたが、やってみるとなんとかできそうだなと思いました。肩倒

「ピラミッド・

肩車・善光寺・いちよう・倒立」がむずかしかったです。倒立は、家でお父さんやお母さんと練習するうち

に、一回でサツと上がするようにになりました。



ピラミッドは私が一番上なので、登るのがとても大変だと思ひ、登れないとプレッシャーを感じた。本番は一回勝負なのでドキドキでした。善光寺も一番上なので待つ時間が長いのでとても恐かったです。

ぐるりウォーキング
10月17日

歩くのにちょうど良い天候の中、六十人の参加で、下市田史跡巡りが行われました。史談会・愛護会の皆さんの丁寧な説明で、ふだん車で慌ただしく通っている道や建物にも、先人が残してくれた色々な深い思いがあるということを実感。今ある貴重な文化財を大切にしながら、自分たちも後世に何かを残し、伝えられたら——など

歩くのにちょうど良い天候の中、六十人の参加で、下市田史跡巡りが行われました。史談会・愛護会の皆さんの丁寧な説明で、ふだん車で慌ただしく通っている道や建物にも、先人が残してくれた色々な深い思いがあるということを実感。今ある貴重な文化財を大切にしながら、自分たちも後世に何かを残し、伝えられたら——など



区有重要物件の貸し出し規定改正

部員記

下市田史談会受託の、区有重要物件の貸し出し規定が、この九月一日付けで改正されましたので、公告いたします。

一、下市田史談会長に申し出、閲覧申請書を受け取る

二、閲覧申請書を下市田区長に提出、許可を得る

三、史談会長に閲覧申請書を提出、閲覧期日を確認

後、閲覧誓約書に書名捺印

四、申請した期日、閲覧時間内で指定された場所へ

五、閲覧終了後は、史談会長より閲覧物件の点検を受ける

備考

・該当物件の貸し出しは厳禁、但しコピー可

・閲覧物件は、区有文書目録・分間図など

・閲覧申請書及び関係書類は、史談会長(十六年度田戸純市氏)の元にある

グループ紹介

びすけっと

下市田五区代表 福沢千恵子

たかもり助 け合いの会、
「びすけっと」
の紹介をさせ
て頂きます。
助け合いの内
容として、四
つのグループが有ります。
日常生活支援、配食サービ
ス、IT教室、かわせみサ
ロンです。高齢になられて
からも、在宅でいきいき豊
かに暮らせる様、サポート
をしているグループです。
平成十年七月に発足しま

ぶり付きや、紫蘇の実を朝
皆でしごいて採ったものを
昼食に佃煮にして食べたり
しました。次回は、飯島へ
コスモス畑を見に出掛け
予定です。以前には飯島社
協を通じて、ミニディの方
との交流会ができ、日頃練
習しているコースなどで、
ゆったり楽しい時間を過ご
す事ができました。

最後にになりましたが、び
すけっとの活動に参加して
みたい方々や、協力をして
頂ける方がおいでになりま
したら、是非協力をお願い
したいと思います。

現在十五人位の利用者があ
り、毎回工夫をこらしたゲー
ムや食事、おやつ作りでは、
地域で採れた旬の野菜や果
物を利用する様に心掛けて
います。最近では、サンマ
の炭火焼き、大根おろしたっ
り、春のお好み演芸
会とが三区の大きなコミュ
ニティー事業として定着し
ており、三区の人たちのふ
れあいを深めております。
この三区を「力行会」と
命名したのは、明治三十七、
八年で地域の産業振興に共
に励んだとの記録があり、
現在この伝統ある自治会組
織名を使って会を運営し続
けております。また、三区
の集会施設を「力行会館」
と名づけ、親しみをもって
地域のふれあいの場として
使用しております。

配食サービスでは、日曜
日から土曜日まで毎日、ご
自宅までお弁当を配達して
おります。ミニディサービ
スの昼食や、松花堂のお弁
当も御注文により作らせて
頂いております。



区委員 スポーツ大会

区委員によるグラウンドゴ
ルフを、秋分の日に行いま
した。折からの秋雨前線の
影響で雨の心配もあり、稲
刈りも始まり、お彼岸でも
あり、出席人数の心配をし
ましたが、まずまずの天気
で四十数名の出席をいただ
き、準備当番の水利委員と
してご協力に感謝申し上げ
ます。

大会の方は各チーム悪戦
苦闘しながらも、予定通り
終了しました。表彰式は、
一位林一雄氏、二位林邁氏、
三位林稔氏、ブービー賞吉
川登氏。一位から三位まで
がオール林と言う面白い結
果になり、会場が一時沸き
ました。尚順位の発表も林
でた予算(二千元以内)
の中で当番が苦勞して用意
しました。中身については
開けてビックリだったと思
います。ホールインワン賞
は、予算の関係で即興で用
意しましたが、その場で飲
んで終了でした。関係各位
のご理解ご協力に感謝申し
上げます。準備当番の水利
委員の皆様ご苦勞様でした。
水利委員長 林 守夫

編集後記

本年度の中間点を過ぎて
「文化祭り敬老会」を立ち
上げ、多数のご参加を得て
成功裏に幕を閉じることが
でき、今、その余韻に思い
を巡らしています。

勇壮果敢な七年に一度の
御柱祭を送ると同時に新年
度発足、五月には「町議選」
を開催して五名の選良の抱
負と実績に触れ、七月には
区民広場一杯に繰り広げら
れた「萩の里祭り」に興じ
て、輪と和の幸せを体感し
て参りました。
集いによる力の結束が楽

しいイベントを起こし、絆
を結び、親睦と協調を促し
てくれるものと、改めて感
謝申し上げます。
宮下先生の「伊那谷から
生まれた物語」は如何でした
か。信仰に因って地域に語
り継がれてきた人間模様が、
心温まる物語として文化を
支え、歴史を繋いで現在に
息づいている感慨に、どっ
ぷり浸ることができました。
古きよき時代に思いを馳
せ、先人の偉業に触れなが
ら、郷土の睦みと発展の為
に力を結集して参りたいと
存じます。

地域の紹介

下市田三区部落長
片桐 猛

台風一過、十
月十日は「三区
力行会ふれあい
運動会」/みん
な集まろう、楽
しもう”を合言
葉に南小学校グ
ランドに四百五十余人が大
集合。快晴のなか、小学生
の聖火入場点火で開会、紅
白の旗のもと拍手と声援で
もありあがり、途中少し雨中
の大熱戦となりましたが、
元気あふれる一日でした。
この運動会は町の運動会

